

うん、なんでしょう



イレイン・ホンさん

いよいよお別れの時期になりました。時間があっという間に過ぎました。本当に実感がないです。別れ話をするのは大の苦手です。語り始めると涙がポロポロと出てくるからこの2年間の出来事を写真で綴ります。

2年間を振り返って雲南省での滞在は非常に幸せな期間で、豊かでかけがえのない思い出になりました。私は「井の中の蛙」にならないように日本文化を理解し、日本語を勉強し、日本での生活を体験するために日本にきました。国際理解は個人からはじめる事、つまりは、一人ひとりの草の根交流から始めるべきです。

私が今まで市役所でやってきた仕事が、日本にとって、そして雲南省にとって少しでも国際化のお役に立てていれば幸いです。出会ったすべての方に対し、言葉では言いあらわせないくらい感謝しています。いつも親切にして下さり、いやな顔をするとところを一回も見たことがありません。どんなことにも積極的に動いて下さり、本当にありがとうございました。

I want to say thank you to the following people: 小学校の子どもたちや先生、近所のみなさん、英会話教室・タップダンス教室・刺しゅう教室・陶芸クラブのみなさん、三刀屋太鼓のメンバー、職場の同僚、個人名だと、まだまだたくさん名前が出てきますが、今まで私のわがママを我慢してくれて、なんでも手伝ってくれて、本当に本当に感謝しています。みなさんのことが大好き。Thank you so much, I will miss you all. I will never forget my 2years in Kisuki and will cherish these memories for a lifetime to come. Thank you. Lots of love, Elaine



タップダンス



プライベート



英会話教室



学校訪問

シリーズ「地域自主組織」を考える①

「地域自主組織」とは何か ～自治会（集落）との違い～

島根県中山間地域研究センター 地域研究グループ 笠松 浩 樹



市では、「市民が主役の自治のまち」とまちづくりの主要施策に掲げ、そのひとつとして地域自主組織の設立促進と機能充実をめざしています。現在、各地域において地域自主組織の設立の取り組みがなされているところですが、そもそも地域自主組織とは何か？ 何か分りづらい!!との声があり、今回より3回シリーズで島根県中山間地域研究センター主任研究員 笠松浩樹氏の協力を頂き、地域自主組織について考えていきます。

1 今、住民の自立が求められている

市町村合併や行財政改革の推進によって市の予算や職員が減り、行政サービスが低下するという声が聞かれます。住民と行政が力を合わせてまちづくりを進める時代になりました。発想を変えれば、住民の力が発揮できるチャンスです。今こそ、自分達の手で快適な生活や収益を得る取り組みを始めましょう。

基本的な考え方は、「できることはまず住民が実践する」ということ。これは、行政の肩代わりを押しつけられるものではなく、住民の発想を形にし、活動を通して地域の魅力を再発見し、生きがいや充実感を感ずることです。自分の思っていたことが動きになったという喜びは、きっと自信や誇りにつながるでしょう。

2 集落（自治会）の役割と限界

地域内の組織には集落（自治会）があります。集落では、住民の意見をまとめ、葬祭や環境美化など生活を維持するための活動を行っています。その一方で、過疎・高齢化のために従来の活動が難しくなった集落（自治会）も出始めました。現在の状況に合わせて、活動のあり方を変えていくことも必要になっていきます。

集落（自治会）の会合は、主に世帯主が出席します（「1戸1票制」）。世帯主は男性の年配者が大半ですが、会合で話し合われた経過を家族に伝えていない場合もあります。そのため、集落の中には若者や女性が意見を言う機会がなく、義務的に活動に参加していることもあります。

3 新たな地域運営母体「地域自主組織」

雲南省では、住民の思いを形にする手段として「地域自主組織」を推進しています。これは、集落（自治会）の手法によらず現在の情勢に合わせた地域運営母体として期待が高まっています。

イベントの実施、生活環境の維持、産業おこし（コミュニティビジネス）など多様な活動を行うには担い手が必要です。そのため、「地域自主組織」は一定量の人口を確保できる公民館区や小学校区、あるいは数集落を単位としているものが多くなっています。ただし、重要なのは規模ではなく、しくみであるといえます。

では、住民の自立を目的とした「地域自主組織」の主な特徴を見てみましょう。

①「1戸1票制」を打破し、子どもや若者、女性も含めた幅広い世代が関わる「1人1票制」を実現する。

②生活の維持、福祉、楽しみの実現、産業振興など、幅広い分野での活動を進める。

③テーマごとに部会を設けるなど、住民一人ひとりがやる気を発揮できるしくみづくりを進める。

町や地区ごとに歴史や特徴があります。従って、他の事例を真似しても成功するとは限りません。「地域自主組織」は、さまざまな世代の住民がしっかりと話し合いを行うことが基本です。マイペースで楽しみながら進めていきましょう。